

平成 29 年度 第 7 回

国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技（論述）試験 問題用紙

実施日 ◆ 平成 30 年 2 月 25 日（日）

試験時間 ◆ 14：30～15：20(50分)

★注意事項★

1. 本試験の出題形式は、記述式 3 問です。
【事例記録】を読み、設問ごとに解答用紙の記入欄に記述してください。
2. 解答用紙の所定欄に、氏名を記入し、受験者シールのバーコードシール 1 枚を必ず貼り付けてください。記載漏れおよび貼り忘れの場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計、筆記具（鉛筆、ペン、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験室内では、携帯電話・スマートフォンなど全ての通信機器及び電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切り、鞆の中などにしまってください。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後 30 分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻 5 分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したまま静粛にお待ちください。

- 平成 30 年 4 月 3 日（予定）に、受験者全員に試験結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、以下の登録試験機関の Web サイトに受験番号を掲載してお知らせします。
<https://www.career-shiken.org/result.html>

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

問題 次の【事例記録】を読み、以下の設問に答えなさい。解答は解答用紙の設問ごとに記述すること。

【事例記録】

1. 相談者情報 Zさん、男性、40歳、高校卒業後精密機器会社に勤務し22年
家族構成：妻（会社員）、子供（中学2年生）
2. 来談の経緯 平成30年2月末 本人の希望で来談
Zさんが入社以来働いていた製造部門が2年前に海外に移ることになった。その際、海外に行くか国内の別の部署に異動するかの選択を迫られ、国内に残る希望を出し、販売部門に異動した。しかし、販売部門での仕事は自分には向いていないと思い転職を考えるようになり来談した。
3. 逐語（一部抜粋）：CCはキャリアコンサルタント、CLは相談者の発言を示す。

（これより以前の逐語は省略）

- | | |
|------|---|
| CC 1 | 今の仕事が自分に向いていないような気がしていて、仕事を続けるか迷っていらっしやるということですね。 |
| CL 1 | 国内に残る場合はどこに異動になるか分からなかったのですが、私は元々人と話すのが苦手だし、販売部門に行くことはないだろうと思っていました。なので、異動先が決まったときはとてもショックでした。異動して2年ほど経ち、営業の仕事をしていますが、やはり今の仕事にはなじめないなと思っています。 |
| CC 2 | 空欄 A |
| CL 2 | 今の仕事は、客先での交渉ごともあるし、資料を使って製品の説明をしても、何を言っているか分からないって注意されたり、苦手なことが多いんです。モノ作りの現場は製造のスキルも上がるし、他の人との関わりも少なく一人で集中できる仕事でよかったんですね。 |
| CC 3 | 2年間頑張ってきたけれど、販売部門になってから、お客様との関係にも気を遣わなければならないし、製造部門の仕事の方がご自分には合っていると思われるのですね。 |
| CL 3 | そうなんです。このままでは製造の仕事はもうできないかと思うと、いっそ別の会社に転職しようかとも考えるようになりました。 |
| CC 4 | 転職しようかと。 |
| CL 4 | でも、自分の力がどこまで他の会社で通用するかわからないし、簡単に仕事は見つから |

ないだろうし……と思うと動けないでいます。何から始めていいかもわからないですし。

CC 5 そうですか。いざ転職となると、どう動いていいか分からないし、迷いがあるということですね。

CL 5 そうですね、転職するなんて言ったら妻も心配するだろうなと思います。

(中略)

CC 6 やはりお話を伺うと、製造への強い思いがあるようですね。でも、実際に転職するとしたら色々考えなければならぬ事が出てくると思います。実際するかどうかは別にしても、もし転職するとしたら、ということで

空欄 B

 について改めて考えてみるというのはいかがでしょうか？

CL 6 そうしたら具体的にどのようにすればいいのかなあ。

以下略

【設問】

※注意事項：解答は全て解答用紙の行内に記入すること。裏面等に記入したものは採点されません。

設問 1 逐語の空欄Aで、キャリアコンサルタントとしてあなたならCL 1の発言を受け、どのような応答をするか記述せよ。(10点)

設問 2 キャリアコンサルタントとして、あなたが考える相談者の「問題」を記述せよ。(10点)

設問 3 この事例の展開に関し、以下の問いに答えよ。(30点)

(1) Zさんに対しどのような提案を行うか。逐語の空欄Bに入る、あなたが考える語句を2つ記述せよ。

(2) 設問3(1)で解答した2つのうちいずれかを選択して、キャリアコンサルタントとしてあなたはこの先、どのような働きかけを行うか、具体的に記述せよ。

以上で問題は終了です。

解答用紙

受験者 氏 名	
------------	--

受験者シールのバーコードシール
1枚をこの上に貼り付けてください。

【設問1】 逐語の空欄Aで、キャリアコンサルタントとしてあなたならCL1の発言を受け、どのような応答をするか記述せよ。

【設問2】 キャリアコンサルタントとして、あなたが考える相談者の「問題」を記述せよ。

【設問3】 この事例の展開に関し、以下の問いに答えよ。

(1) Zさんに対しどのような提案を行うか。逐語の空欄Bに入る、あなたが考える語句を2つ記述せよ。

①

②

(2) 設問3(1)で解答した2つのうちいずれかを選択して、キャリアコンサルタントとしてあなたはこの先、どのような働きかけを行うか、具体的に記述せよ。

←設問3(1)で解答した2つのうち、いずれかの番号(①又は②)を記入。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。